

## 2016 いもほりにでかけよう！

### 2016 お弁当を作ろう！（こども食堂コラボイベント）

#### 2016 ありがとう会

#### ●いもほりにでかけよう！●

(日時) 2016年 10月 29日 (土)

(場所) 甲山農地

(参加者) 尼崎すこやかプラザに通う  
小学生 (5名)

(学生スタッフ) 6名

私たちは春先から西宮や尼崎で開催されているこども食堂に足を運び、「こどもの居場所作り」をテーマに活動を進めてきました。また、活動のフィールドを甲山農地にも広げ、定期的に野菜のお世話をしながら、こども食堂への食材の提供や農地での野外活動も行いました。

1回目のイベントは、こども食堂を運営している尼崎市立すこやかプラザに通う小学生5名を対象に、甲山農地にてサツマイモに焦点を当てたイベントを行いました。子ども達をすこやかプラザまで迎えに行くグループと、農地でお昼ご飯を作るグループに分かれて作業をしました。尼崎からの道中では事前に配布したサツマイモに関する冊子を皆で読み返し、イベントに向けての気持ちを盛り上げていきました。



農地に着くとまずはビニールハウス内に移動し、自己紹介を行った後、すいとん団子作りをしました。農地で取れた小麦粉を使って、皆思い思いの形を作ってくれました。その後は、アイスブレイクを兼ねて、屋外でサツマイモに関するクイズを行いました。バスのなかでの予習のお陰で、皆ばっちり正解！体を動かしながら楽しく学習しました。



アイスブレイクが終わった後は、いよいよお昼ご飯の時間です。今回は農地で収穫した、サツマイモ・ダイコン・にんじんに加え、先ほど子ども達が作ったすいとん団子を入れたスペシャルなさつまいも豚汁・さつまいもご飯・麦茶を頂きました！子ども達は何度もお替りをして、どのメニューも美味しそうに食べてくれていました。



お昼ごはんが終わると、次はいよいよ「いもほり」に出かけました。普段触ることのない畑の土にふれたり、掘り進める途中出会う虫にギャーギャー言ったりと、とても楽しそうにサツマイモを掘っている姿がとても印象的でした。始めはスコップの使い方もぎこちなかったのですが、どんどん上手になっていく様子も見られました。また、私たちが種から育てたダイコンやにんじん、カブのお手入れも体験してもらいました。「間引き」という作業は野菜を大きく丈夫に育てるのに欠かせない作業です。子ども達はまだ小さい野菜たちに驚きながら一生懸命に作業を進めてくれました。



ビニールハウスに戻った後は、振り返りの会とおやつタイムを設けました。事前に用意しておいたおやつのはさつまいも蒸しパンを食べながら、アンケートを書いてもらいました。「楽しかった」「ご飯が美味しかった」「みんなで一緒に農作業ができてよかった」との感想があがりました。

いつもと違う場所で自然に触れながら皆で活動し、笑顔あふれる一日になりました。尼崎からはるばる西宮の農地まで来てくれた子ども達、すこやかプラザのスタッフさん、農地のスタッフの皆さん、ありがとうございました！！

●お弁当を作ろう！●

[1日目]

(日時) 2016年12月26日 (月)

(場所) グループハウス尼崎

尼崎市立すこやかプラザ

(参加者) 尼崎すこやかプラザに通う

小学生5名

(学生スタッフ) 3名

[2日目]

(日時) 2017年1月5日 (木)

(場所) グループハウス尼崎

尼崎市立すこやかプラザ

(参加者) 尼崎すこやかプラザに通う

小学生6名

(学生スタッフ) 3名

2回目・3回目のイベントとして、定期的に訪問している子育て支援施設「すこやかプラザ」に通う小学生を対象に、お弁当作りイベントを開催しました。来年から中学校へ通う子ども達に、自力で最低限のお弁当を作れるようになってほしい、少しでもその手助けが出来ればと思い、このイベントを企画しました。

食材の買出し準備をした後は、普段はすこやかプラザさんがこども食堂を開催している「グループハウス尼崎」の食堂スペースに移動し、子ども達と一緒に調理を始めました。



お弁当作りに使う野菜はすべて私たちが普段から農作業を行っている甲山農地で収穫したものです。特に1日目の食材の赤カブは、普段家庭でみることのない野菜だったようで、子ども達は興味深く見ていました。使い慣れない包丁に最初は慣れない手つきの子どもたちでしたが、徐々に自分で食材を切るペースをつかみ、後半には私たちの補助なしでもさくさく野菜を切ってくれました。また、たこさんウィナーはどうやって足が広がるか知らなかったようで、新しい発見にとっても喜んでいました。



おかずとご飯がそろったら、次はお弁当箱に詰める作業です。みんな自分たちが持ち寄ったお弁当箱にバランスよく詰めることができていました。また、私たちや他の子のお弁当におかずをよそってあげたりと、積極的にお手伝いしてくれる姿も見ることが出来ました。

みんなのお弁当が完成したところで、全員揃って「いただきます」をして、いよいよお昼ご飯の時間です。普段は食べることの出来なかった野菜も、自分たちが作ったものということもあり、ペロッと完食！どンドンおかわりをして皆で美味しく頂きました。



お弁当作りが終わってからは、みんなで食器洗いや食堂の掃除をしてからすこやかプラザに戻りました。

すこやかプラザでは、冬休みの宿題をしたり、一緒に折り紙やカルタをしたりして楽しみました。普段学校でわからないままのところや、授業に出ておらずわからなかったところを私たちが教えてあげると、わかるまで頑張ってくれ、「つかれた～」といいながらもどンドン先まで進めることが出来ていました。また、折り紙をしたことがなかった子もいましたが、一緒に作りあげた作品を、嬉しそうにすこやかプラザの職員さんに見せに行く姿が印象的でした。

また、2日目のイベント後には、なんと子ども達からありがとうの気持ちをこめて、お手紙やお菓子を頂きました！私たちのために前日から準備をしてくれていたことを知り、とても嬉しく胸がいっぱいになりました。



ファストフードを買わなくても、食材を買って自分たちでご飯を作れることを知り、食卓をみんなで囲むあたたかさを少しでも感じてくれたら嬉しいです。

## ●ありがとう会●

(日時) 2017年2月18日 (土)

(場所) グループハウス尼崎

尼崎市立すこやかプラザ

(参加者) 尼崎すこやかプラザに通う

小学生5名

(学生スタッフ) 6名

私たちの活動の締めくくりとして、今までの全3回のイベントに参加してくれた小学生を対象に「ありがとう会」を開催しました。

すこやかプラザさんが毎週土曜日に活動している時間を頂けたり、尼崎市役所の方にアドバイスいただいたり、場所をお借りするグループハウスの理事長さんを交えて活動の報告会をしたりと、様々な方のご協力のもと、準備を進めていきました。



今回はありがとう会ということなので、子ども達やお世話になった方々に感謝の気持ちをこめて、私たちがパスタを作り、振舞いました。



子ども達も続々集合してくれ、すこやかプラザの職員さんや尼崎市の職員さん、グループハウスの理事長さんもお越しください、みんなでわいわいお昼ご飯の時間となりました。また、この日は私たちの取り組みを取材するために毎日新聞の記者の方もお越しくださいました。



この日作ったパスタは、ミートソース、ジェノベーゼ、シーフードの3種類です。皆美味しそうにもりもり食べてくれました。みんな味の感想を語り合いながら、おなかいっぱいになったところで、机の上を片付けて工作の作業に移りました。



今までのイベントで撮影した写真や、折り紙、画用紙を用意し、各自思い思いの手作りアルバムを作成しました。「このイベントのときは、こんなことがあったね〜」「このメニューが一番美味しかった」などと、今までのイベントを振り返りながらセンス抜群の素敵なアルバムが出来上がりました。



最後に、私たちから感謝状と今までのお弁当イベントで作ったおかずのレシピを送りました。表彰される子ども達の顔が嬉しそうで、私たちまで幸せな気持ちになりました。

「こどもの居場所作り」をテーマに1年間活動してきましたが、様々な活動を通して私たちが、学校でも家庭でも施設でもない新たな居場所になれたことを実感しました。施設の方から仰って頂いた、「子ども達が変わった、明るくなった」「皆さんのおかげで3学期は学校に行けるようになった」というお声が何より嬉しかったです。私たちも子ども達と触れ合うことで大きく成長できたと感じています。お世話になった皆様本当にありがとうございました。そしてなにより、1年間関わってくれた子ども達には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました！

